【記入例】　　（様式4）

業績表

受験者氏名　文京　太郎

以下の学会発表又は学術論文のいずれかの業績を有すること.

学会発表

本会学術集会において筆頭者として1回以上の発表実績を有すること。あるいは、本会地方会学術集会において筆頭者として2回以上の発表実績を有すること(ただし、内容が重複していないこと)。

学術論文

本会が発行している和文誌「超音波医学」又は英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」に、筆頭者又はcorresponding author として、論文1編以上の掲載実績を有すること。なお、論文の種類は問わない(Letter to the Editor や依頼原稿(総説・特集・解説等)も含む)。

2026年3月31日までに、「本会学術集会・本会地方会学術集会にて発表済みの発表実績」又は「公開済み(オンラインファースト含む)の論文・Acceptされた論文」の提出が可能です。

※WFUMB2025の発表実績は、本会学術集会における発表実績と同等とする。抄録の提出が難しい場合は、プログラム部分の提出で可とするが、どちらの場合もWFUMB2025における発表であることが分かるようにすると。

1.下表に必要事項を記載すること。
2.業績を証明する抄録・論文に、下表の番号を明記し、A4サイズで提出すること(拡大等不要)。
3.業績を証明する抄録・論文中の著者氏名(申請者氏名)に、マーカーを付すこと。
4.本会地方会学術集会における2回の発表実績を提出される方のみ、下表の2つの欄を使用すること。これ以外の方は、下表の番号1の欄のみ使用し、業績を1つ提出すること。

1	題名　〔 ☐ 学会発表　☑ 論文 〕 閉鎖性黄疸における超音波診断法の意義 集会名　　開催　年　月 または　超音波医学 雑誌名　●● 巻 ●● 号　発行　〜〜 年 〜 月
2	題名　〔 ☐ 学会発表　☐ 論文 〕 集会名　　開催　年　月 または 雑誌名　巻　号　発行　年　月

公益社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医制度委員会